

令和7年度茨城県業務ガイドンス(農業職)

経歴

- 某大学農学部卒
- 2015年度入庁 (入庁11年目)

入庁後の勤務課所・担当業務

■ 鹿行農林事務所 経営・普及部門 (鉾田地域農業改良普及センター)

(2015～2019年度：5年間)

■ 専門項目：野菜特技

■ 担当業務

- ・ ピーマン・メロン等野菜の生産支援
- ・ 若手生産者組織の活動支援



■ 農総セ鹿島地帯特産指導所 (2020年度～：6年目)

■ 担当業務

- ・ 収益性の高いピーマン環境制御技術の開発
- ・ 線虫防除効果の高いピーマン輪作体系の開発



炭酸ガス施用

ハウス内環境をリアルタイムでモニタリング

茨城県を志望した理由

- ・ 地元
- ・ 全国転勤がない

【農業職を志望した理由】

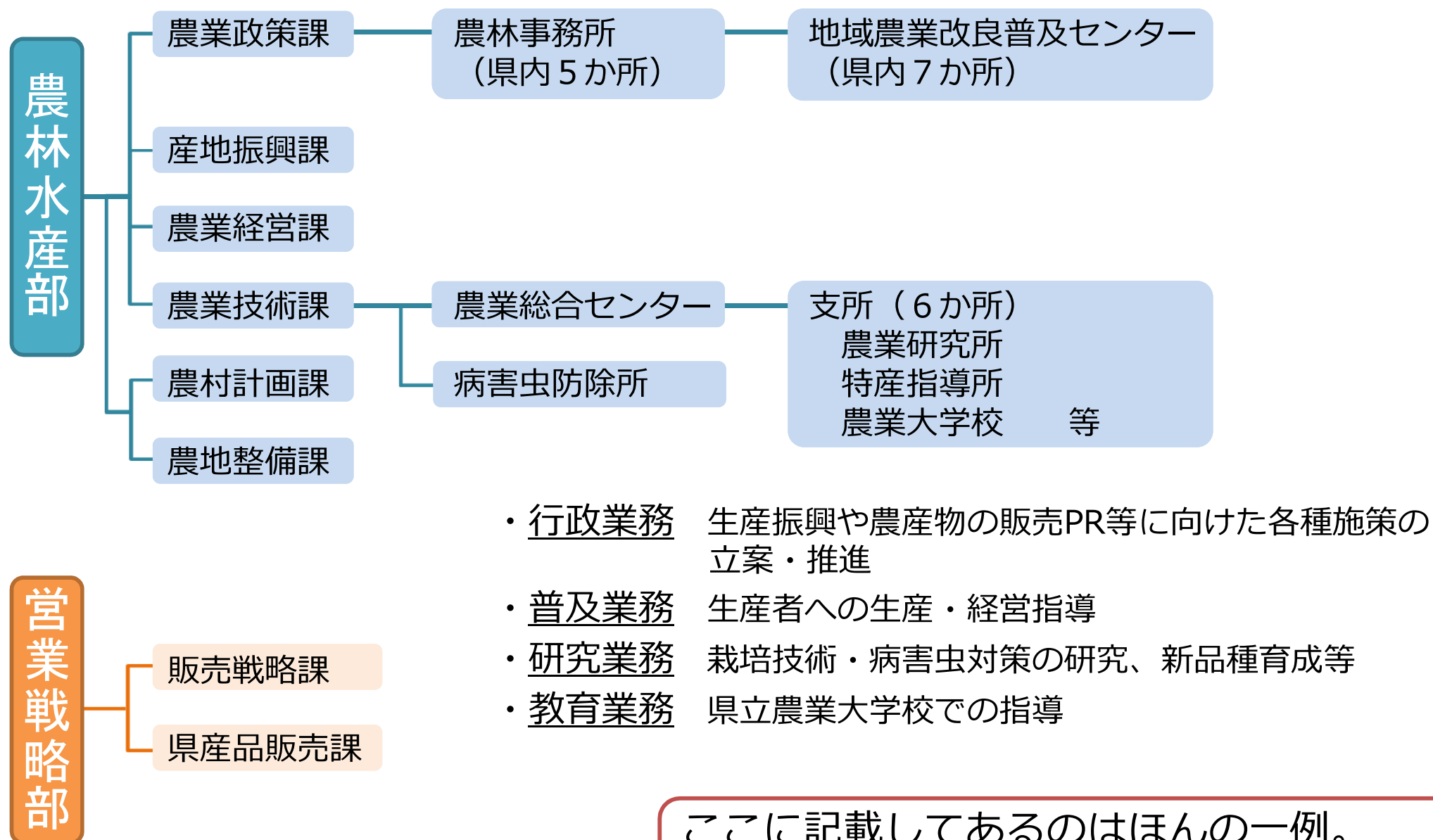
- ・ 栽培が好き
- ・ 農業についてもっと勉強して、作物の生育、栽培技術等への理解を深めたい
- ・ 普及、研究、教育等、幅広い仕事に携わることができる



本日の説明内容について

1. 農業職の配属先
2. 研修制度
3. 農業職としてのこれまでの体験談
4. ワーク・ライフ・バランスについて
5. 本日参加してくれた皆様へ
6. 質疑応答

1. 農業職の配属先（主な例）



ここに記載してあるのはほんの一例。
さまざまな業務に携わることができます！

2. 研修制度（農業職）

■ 普及職員等基礎研修

農業者との信頼関係づくり	本県農業の現状と県農政の方向、課題	コミュニケーションスキル	農業経営と普及活動 経営指導の基礎
作物経営の現状と課題	野菜経営の現状と課題	協同農業普及事業の仕組みと歴史、 普及指導活動の実際～先輩職員の活動事例に学ぶ～	
儲かる農業を実現する担い手経営体の育成①		儲かる農業を実現する担い手経営体の育成② トップ農業経営者の講話・意見交換	
果樹経営の現状と課題	花き経営の現状と課題	アグリビジネスの現状と課題、普及方法のポイント トップ農業経営者の講話・意見交換	
病虫害防除における総合的 病虫害管理技術等環境負荷 低減の現状と課題	環境負荷軽減農業と土づくりの現 状と課題	研究と普及の連携 試験研究の取組（生物工学研究所、園芸研究所） ～先輩職員の活動事例に学ぶ～	
普及計画策定と活動評価について		儲かる農業を実現する担い手経営体の育成③	
先進経営事例現地研修①		先進経営事例現地研修②	
簿記の基本と経営分析		普及活動等担当業務の実際（ワークショップ）	

2. 研修制度（農業職）

■ その他の研修

時 期	研 修 名	研 修 内 容
通 年	任地研修	トレーナー等の指導のもとにOJTを実施し、普及指導活動を行ううえでの基礎的な知識・技術、課題の設定と解決の手法を習得する。
5月～3月 合計10日間 (宿泊は任意)	農家研修	優れた経営を実現している農業者の指導のもと、経営者の思考を学び、また農作業や農家生活の体験をとおり、農家観の醸成と農業への理解を深める。
6月頃、9月頃、10月頃	新規普及職員研修 [農林水産研修所つくば館主催]	協同農業普及事業に携わる職員として必要な知識を学び、普及指導員の役割・目的意識の醸成と実践的な普及指導活動手法を習得する。
第1回:9月17日 もしくは18日 第2回 12月2日 もしくは19日	農作業安全推進研修 [農林水産研修所つくば館主催]	農業機械の実習を通じて、安全な農作業を行うために必要な知識、技術を習得する。

さまざまな研修を通して、農業職に必要な知識を学ぶことができます！

また、職場ではOJTとしてトレーナーの先輩がおり、わからないことはすぐに質問できます！



3. 農業職としてのこれまでの体験談①

○鹿行農林事務所 経営・普及部門（銚田地域農業改良普及センター） （2015～2019年度：5年間）

■担当業務（普及）

- ・ピーマン・メロン等野菜の生産支援（鹿嶋市・神栖市）
- ・若手生産者組織の活動支援（鹿嶋市）

■配属が決まったときの印象

- ・まさか実家の近くで働けるとは・・・

■やりがい

- ・生産者から「ありがとう」と言ってもらえたとき
- ・生産者の笑顔を見ることができたとき

■苦勞したこと

- ・知識・経験不足
→何度もほ場に足を運んで生産者とコミュニケーション
わからないことがあったら上司や先輩に相談！

3. 農業職としてのこれまでの体験談①

1年目は研修が盛りだくさん

上司と行動することがほとんど

→農業者との接し方、普及活動について学んだ

ピーマンとメロンを中心に栽培技術に関する知識の
習得に必死な日々



農業学園で初めての講師



茨城マルシェでピーマンとメロンの消費宣伝



ピーマンほ場



メロンほ場

3. 農業職としてのこれまでの体験談①

2～5年目

- ・生産者や地域の課題解決に積極的に取り組む
- ・生産者以外にも、市役所やJA、研究所など様々な関係機関と接する機会が増加



若手生産者組織の婚活イベント開催支援

若手生産者：未婚率が高い、出会いの場がない
→若手生産者組織が主体となって婚活イベントを開催！

イベント内容・開催までの段取りを一緒に検討、開催に向けた生産者の意識醸成

普及員



ピーマン省エネ機器導入検討会開催

冬季の燃油使用量削減のため、生産者ほ場への省エネ機器の導入を支援
普及センターが中心となって、JAや省エネ機器を製造する民間企業、市役所等と連携した取り組み

3. 農業職としてのこれまでの体験談①

収穫期のメロンほ場



枯死の原因を生産者に伝えて、土壌消毒の徹底を指導

- ・ ピーマン青年部のほ場巡回（1～2か月に1回）に出席し、病虫害対策等を指導
- ・ JA営農指導員と連携して、収量が伸び悩んでいる生産者のほ場を巡回
→伸び悩みの要因を把握、課題解決に取り組み、収量向上を支援

令和元年11月8日
総務課 農務所 指導員・普及部門
(株)地域農業改良センター
JAなめがたしおさい

春ピーマン栽培に向けて

★土壌診断結果に基づいた土づくりを行いましょ！

こんな症状は見られますか？
株の中段あたりの葉の色が枯れている。

項目	測定値	基準値	評価
pH値	6.478	5.5 ~ 6	高い
有機質	0.1125	0.01 ~ 0.6	適正
石灰	674	400 ~ 420	過剰
石灰	116	50 ~ 75	過剰
窒素	32	45 ~ 60	不足
石灰窒素	5.8	6 ~ 8	低い
リン酸	3.6	1.1 ~ 1.3	高い
リン酸	80	20 ~ 80	適正
硫酸窒素	1.2	~	~

同様の症状が見られる3ほ場で土壌診断を実施した結果、カリ不足の傾向が見られました。栽培終了後には土壌診断を実施し、診断結果に基づいた土づくりを行いましょ。

【土の採り方】
土は、右図のように1畝当たり1箇所から5箇所とします。1か所につき、表層10cm位を取り除いて、深さ15cm程度までの土をとります。5か所の土を1つにまとめて診断を行います。

★土壌消毒を徹底しましょ！

2019年度の春作後にピーマンの根を調査した結果、根腐れやセンチュウによる根にぶが観察されました。左図の黒く腐った根からはリゾクニア属が分離されました。

※ルバーグD-D処理など、殺菌剤や殺センチュウ剤のある土壌消毒剤の使用を徹底しましょ！

ピーマンの主な土壌病害に発生のある土壌消毒剤（令和元年10月23日現在）

薬剤名	適用病害
エスパー	根腐病、根立枯病（リゾクニア属）、半腐根腐病
クロールピクリン	根腐病、根立枯病、センチュウ
クロールピクリン縮刷	根腐病、根立枯病、センチュウ
ソイリオン	根腐病
ダブルストッパー	根腐病、根立枯病

農薬を使用する際は、必ずラベルを見て、対象作物・系統回数や使用量・使用方法・使用回数を確認して、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

3. 農業職としてのこれまでの体験談②

○農業総合センター鹿島地帯特産指導所 (2020年度～：6年目)

■担当業務（研究）

- ・収益性の高いピーマン環境制御技術の開発
- ・線虫防除効果の高いピーマン輪作体系の開発

■配属が決まったときの印象

- ・希望した業務ができる！

■やりがい

- ・生産者に「いいピーマンだね～」と言ってもらえたとき
- ・開発技術が実際に生産者の経営に取り入れられ、現場で活用されていると実感できたとき

■苦勞したこと

- ・コロナ真只中（2020年度）で初めての新規試験研究課題計画書の作成

3. 農業職としてのこれまでの体験談②

◎ ピーマン経営の所得向上を目的に、ハウス内環境制御による増収技術の開発に取り組んでいます



炭酸ガス施用

(日中不足する炭酸ガスを補う)

強光・高温

日焼け果



日焼け果の発生軽減

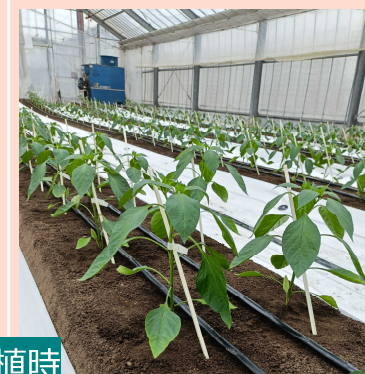
(カーテンを閉じて果実表面温度を下げる)

慣行

新たな仕立て法



定植時



新たな仕立て法

(定植本数を増やす)

◎ アスパラガス（以下、アスパラ）によるネコブセンチュウ（以下、線虫）防除と収益確保が可能なピーマン-アスパラ輪作体系の開発に取り組んでいます

- ・長年に渡るピーマンの連作により、線虫密度が増加し、収量低下の要因に
- ・生産現場では、土壌消毒などの対策が行われているが、作後半までの効果を発揮するには至っていない
- ・当所においてアスパラ根株すき込みによる線虫防除効果を確認

→アスパラ採りつきり栽培 ⑧による耕種的防除技

術の構築



アスパラ株養成期間（12月）



春芽の萌芽（3月）

4. ワーク・ライフ・バランスについて

- フレックスタイムにより、時差出勤可能。
⇒自分のスタイルに合わせて勤務時間を変更。
 - テレワーク可能
⇒午前中だけ、午後だけ等のテレワークも可能。
 - 年次有給休暇、特別休暇
⇒年次有給休暇は1年につき20日間付与（繰越により最大40日間）
夏季休暇、結婚、忌引、介護等
 - 女性はもちろん男性の育児休暇も加速化
- ★家庭環境に配慮された、また、仕事と家庭のバランスが取れた
とても働きやすい職場！

5. 本日参加された皆様へ

- 農業職としての業務は、行政・普及・研究・教育と
バリエーション豊富
 - それぞれの業務で、最初は戸惑うことも…
→ 豊富な研修やOJTにより、一步一步ステップアップでき、
仕事を着実にこなせるように！
 - 上司や先輩からの手厚いサポートもあります
- ★ 農業が好き！ 生産現場の課題解決に取り組みたい！
好きを仕事に！！
一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！

ご清聴ありがとうございました。